

RTE-V850/SB1-IE リリース・ノート

バージョン

RTE-V850/SB1-IE 本体

Ver 1.0

使用上の注意事項

本製品のエミュレーション機能は、V850/SB1 ES2.0 に相当しています。

使用上の制限事項

本製品（ICE）は、V850/SB1（本チップ）と以下の点で異なります。

1. PM6,PM9 レジスタの初期値が異なります。

SFRレジスタ(アドレス)	V850/SB1(本チップ)	RTE-V850/SB1-IE(ICE)
PM6(0xFFFFF02C)	0x3F	0xFF
PM9(0xFFFFF032)	0x7F	0xFF

2. ICE では、P6,PM6 のビット 6,7 が R/W 可能ですが、本チップでは、0 固定です。

3. ICE では、P9,PM9 のビット 7 が R/W 可能ですが、本チップでは、0 固定です。

rte4win32 のバージョンについて

Ver5.03 以前

V850/SB1 の内蔵 ROM/RAM 容量は、256K/16K のみのサポートです。

Ver5.03 以降

V850/SB1,SB2 の内蔵 ROM/RAM の容量が 128K/12K – 512K/24K までの全種に対応します。この変更に伴い、chrte2.exe のメニューが V850/SB1 から V850/SBx に変更になり、ROM/RAM 容量の指定が必要になりました。

以上

平成 12 年 12 月
株式会社マイダス・ラボ